

＜本校男子＞

【実技の状況について】

- 握力（筋力） →全国平均を上回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力）  
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 長座体前屈（柔軟性） →全国平均を上回っている。
- 反復横跳び（敏捷性）  
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 持久走（長距離走能力） →全国平均を上回っている。
- 20mシャトルラン（全身持久力） →全国平均を下回っている。
- 50m走（疾走能力） →全国平均を下回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）  
→全国平均を上回っている。
- ハンドボール投げ（投球能力） →全国平均を下回っている。

【児童生徒質問紙について】

- 運動が好き、やや好き  
→86.1%（全国平均 89.0%）
- 保健体育の授業は楽しい、やや楽しい  
→90.0%（全国平均 88.2%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童（生徒）の割合  
→13.7%（全国平均 12.3%）
- 健康でいるために運動を行うことが大切、やや大切  
→95.7%（全国平均→95.7%）
- 健康でいるために食事をしっかりと取るとは大切、やや大切  
→97.2%（全国平均 98.8%）
- 健康でいるために睡眠は大切、やや大切  
→97.1%（全国平均 97.2%）

＜本校女子＞

【実技の状況について】

- 握力（筋力） →全国平均を上回っている。
- 上体起こし（筋パワー、筋持久力）  
→全国平均を下回っている。
- 長座体前屈（柔軟性） →全国平均を上回っている。
- 反復横跳び（敏捷性）  
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 持久走（長距離走能力） →全国平均を上回っている。
- 20mシャトルラン（全身持久力） →全国平均を下回っている。
- 50m走（疾走能力） →全国平均を下回っている。
- 立ち幅跳び（筋パワー、跳躍能力）  
→全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ハンドボール投げ（投球能力） →全国平均を下回っている。

【児童生徒質問紙について】

- 運動が好き、やや好き  
→80.7%（全国平均 78.6%）
- 保健体育の授業は楽しい、やや楽しい  
→84.6%（全国平均 83.1%）
- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の児童（生徒）の割合  
→38.4%（全国平均 19.1%）
- 健康でいるために運動を行うことが大切、やや大切  
→94.8%（全国平均→95.5%）
- 健康でいるために食事をしっかりと取るとは大切、やや大切  
→100.0%（全国平均 98.8%）
- 健康でいるために睡眠は大切、やや大切  
→98.7%（全国平均 98.4%）

今回の調査結果の傾向

【実技の状況について】

- 男子は、経年変化で捉えたと、全体的に改善傾向が見られる。
- 特に、以下の種目で全国平均との開きが大きいが、課題として挙げられる。  
・男子→20mシャトルラン（全身持久力）、ハンドボール投げ（投球能力）  
・女子→上体起こし（筋パワー、筋持久力）、20mシャトルラン（全身持久力）、50m走（疾走能力）、ハンドボール投げ（投球能力）

【運動習慣等について】

- 「運動が好き」「保健体育の授業は楽しい」と考える子どもの割合は高い値を維持しており、意識の高さが伺える。
- 健康三原則への意識が高い一方、体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の子どもの割合について高いため、ほとんど運動をしない子どもに対する取組に課題がある。

改善の方向

- 疾走能力や投球能力を高めるのに  
はコズモタイムに運動の取組の充実を図っていく。
- 運動が苦手な子どもも、意欲的に学ぶことができる指導を工夫することで、どの子も「運動することが楽しい」と実感できる授業の充実を図っていく。
- 家庭と連携し、健康三原則に基づく生活習慣の確立を図るための取組の充実を図っていく。